

事業番号	15 05 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S54 ～	E-mail	tokubetsu-shien @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・発達障がい等の診断等のある児童生徒の増加（義務教育段階での割合 H30:4.85%→R6:7.45%）や、こどもが抱える困難の多様化・複雑化等で特別支援教育の必要性が高まるなか、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な学びの場の整備や支援の充実が必要。
- ・障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、インクルーシブな教育の推進が必要。
- ・卒業後の自立と社会参加に向け、関係者と連携したキャリア教育や就労支援の充実が必要。

2 事業目的

特別支援教育が必要な児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを丁寧に把握し、それぞれにとっての適切な学びの場で、持てる力を最大限発揮できるよう教育環境を整備する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適切な学びの場を提供するための支援体制整備**
- ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援・合理的配慮の提供が進むよう「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」の作成に向け研修の充実等を図る。
 - ・通級指導教室のニーズに応じた設置と効果的な運営を行う。
 - ・高等学校における発達障がい等による学習上又は生活上の困難の改善・克服のため、合理的配慮の提供を推進する。
- ②行動面に困難のある児童生徒への行動支援を充実するための取組を充実**
- ・支援が広く行き届く仕組みを構築するため、子どもの豊かな育ちに向けたポジティブな行動支援の全県的な展開を図る。
 - ・外部専門家と連携し、困難事例に対して専門性のある支援を行う。また、事例について蓄積・共有・活用を行う。
- ③生徒の希望に応じた進路と社会参加を実現するための支援の充実**
- ・希望する進路と卒業後の継続的な社会参加を実現するため、在学中からの福祉関係機関等との連携強化と「個別の教育支援計画」の効果的な活用を進める。
 - ・企業等と連携した学校見学の実施及び就労コーディネーター等による実習先の開拓・就労マッチング支援の充実を図る。
 - ・生徒の働く意欲とスキルの向上のため、特別支援学校技能検定を実施する。

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし -:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移			
①-1	小学校における通級指導教室を利用している児童の割合	%	0.87	0.95	↑	1.98	↑	2.0	△	第3次長野県特別支援教育推進計画でR9年度目標を2.8%と設定したため、3年度目であるR7年度は2.0%を目標とする
①-2	高等学校における個別の指導計画の作成を必要とする生徒のうちの作成している生徒の割合	%	41.5	57.9	↑	42.8	↓	56.1	△	第3次長野県特別支援教育推進計画でR9年度目標を67.2%と設定したため、3年度目であるR7年度は56.1%を目標とする
②	各校が支援プログラムを設定し、支援を実施した事例数	件	-	45	-	60	↑	70	△	第3次長野県特別支援教育推進計画でR9年度目標を90件と設定したため、3年度目であるR7年度は70件を目標とする
③	特別支援学校高等部卒業生の企業等への就職者の割合	%	23.7	21.7	↓	28.1	↑	31.2	△	第3次長野県特別支援教育推進計画でR9年度目標を32.4%と設定したため、3年度目であるR7年度は31.2%を目標とする

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
4-2①	年齢・性別・国籍・障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出	☆法定雇用率適用企業で雇用される障がい者数	人	2022 (R4)	7,351	2023 (R5)	7,662	2024 (R6)	8,026	2027 (R9)	8,455

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分		予算額				決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)		
R7年度	予算案		324,881		324,881	246,283	7.1
	要求		328,398		328,398	248,607	
R6年度		0	296,308	0	296,308	224,536	7.1
R5年度		0	212,329	0	212,329	164,864	179,779
要求からの 主な変更点		医療的ケア体制整備事業において、非常勤看護師の配置人数を見直し、報酬等を減額					

事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	--------------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
1	特別支援教育推進指導事業		53,437 千円	60,947 千円	予算案 64,559 要求 64,559 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	発達障がい児等総合支援事業	直接	・LD等通級指導教室担当者専門性向上研修事業 ・特別支援教育コーディネーター研修事業 LD等通級指導教室担当者専門性向上研修の延べ対象者数 242名		
2	特別支援学校センター的機能充実事業	直接	・自立活動担当教員による地域の特別支援学級等への巡回相談支援 ・外部専門家（OT、PT、ST）や芸術家、スポーツ選手等を特別支援学校に派遣 外部専門家を活用した指導の実施回数 162回		
3	特別支援教育充実事業	直接	・自立活動支援員の配置 ・LD等通級指導教室担当教員の増員 ・長野県特別支援教育連携協議会の開催 「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業の実施 行動支援対応リーダーによる相談支援回数 400回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
2	就学指導事業		36,380 千円	39,612 千円	予算案 41,257 要求 41,257 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	就学相談体制整備事業	直接	・特別支援教育推進員の配置 ・長野県教育支援委員会の開催 長野県教育支援委員会開催回数 2回		
2	交流教育推進事業費	直接	・交流教育提携校との交流 ・提携校以外の相手先との交流 交流教育提携校数 101校		
3	特別支援学校就労支援総合事業	直接	・技能検定の実施 ・就労コーディネーターの配置 ・産業現場等における実習の実施 技能検定の実施校 12校		

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
3	就学奨励事業		122,512 千円	195,749 千円	予算案 219,065 要求 222,582 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	医療的ケア体制整備事業	直接	・学校看護師の配置 ・医療的ケア研修、医療的ケア運営協議会の開催 ・医療的ケア指導医派遣研修の実施 特別支援学校医療的ケア研修開催数 18回		